

創作意欲を用いて、会話を楽しみながら、誰でも参加できるワークショップを14日、ギャラリー冊の協力の元、武蔵野美術大学の学生が行いました。このワークショップでは、「見て、聞いて、カタチに。」を基に展示されている作品と千鳥ヶ淵の自然に触れ、その体験を瓶の中で表現し、各々の思い出を残しました。

「ゲーテの目」という、企画展示がされ、関根直子さんの絵画作品と長谷川さちさんの立体作品が並べられ、ワークショップ参加者は、学生と「どういった表現で、何を感じた」と会話しながら鑑賞しました。関根直子さんがメシアン『トゥーランガリラ交響曲』第五楽章「星たちの喜び」を制作中に聴いていた、というところから着想を得て、ワークショップでは感じたものを粘土で表現し、色をつけました。

千鳥ヶ淵緑道には木や植物が並び、半造濠があります。当日は雨天の中で感じる空気や音などにも注目しつつ自然を採取しながら散策しました。

これらの体験を20cm程の瓶にB玉やカラーサンド等と採取した自然物とともに詰めました。参加者達は、グラスサンドアートのように表現したり、展示されている作品から影響され表現したり自分の仕事柄出来た表現等、多様な容姿の作品が完成し、千鳥ヶ淵の思い出と体験を手土産として持ち帰ることができました。

文責 野田 大地
宮崎 準也

今回のワークショップの企画実施した武蔵野美術大学の学生の名前学科を下に記します。

日本画学科	大石 日向子
日本画学科	辻 美紅
日本画学科	野田 大地
油絵学科	井下 紗希
油絵学科	田中 沙季
彫刻学科	黒瀧 舞衣
彫刻学科	古西 穂波
彫刻学科	宮崎 準也
工芸工業デザイン学科	山田 彩香
工芸工業デザイン学科	JIAN SONGXIAN
工芸工業デザイン学科	篠原 鈴佳
デザイン情報学科	徳永 彩乃